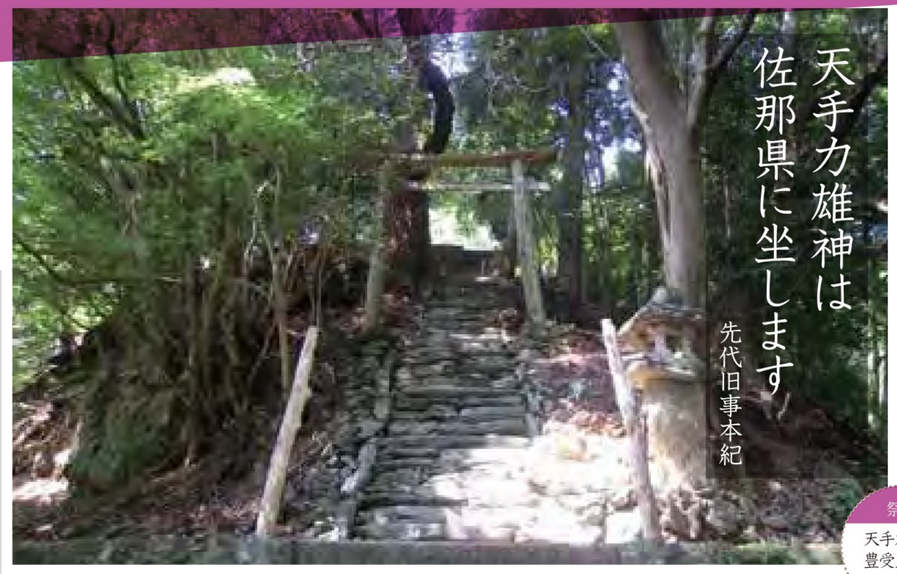
History & Roman

歴史・伝統に触れる



佐那河内村のスピリチュアルスポット探訪

佐那河内村の古地名は“佐那県（さなのあがた）”。その歴史は「記紀」に描かれた時代まで遡ります。天手力雄神（たちからおのみこと）とは、天岩戸伝説に登場する岩戸をこじ開けた神様。「先代旧事本紀」には、天孫降臨のあと佐那県に住まわれたと記されており、村内には古事記由来の神々を祭る神社がのこります。

天岩戸別神社（開運武運長久の守護神）

祭神：天手力雄神、豊受皇太神、天照大神

訪れた瞬間、不思議な空気に包まれる場所。天手力雄神、豊受皇太神、天照大神が奉祀されていることから三社様とも呼ばれ、村の文化財となっています。開運武運長久の神として、藩主蜂須賀探珠院からの信仰も厚く、何度も代参を遣わせたと伝えられています。近くに天手力雄神の塚もあります。

嵯峨天一神社（太陽と月の神）

祭神：天照大神、月読命、大白星神

秋祭り：11月上旬　天照大神とその弟神である月讀命・大白星神を祭る神社。境内の大框は村の文化財です。

大宮八幡宮（藍染め伝説）

祭神：八幡大神（応神天皇）
境内社：猿田彦命
併神：天石門別豊玉姫命

秋祭り：10月下旬　村の総氏神であり、かつては細川家の祈願所で、蜂須賀家からも厚い信仰があったとされる神社。境内社には猿田彦神社があり、藍染め発祥の伝説も残ります。

朝宮神社（伝統の獅子舞奉納）

祭神：瀬織津姫（天照大神の荒御魂）

秋祭り：10月上旬　災厄抜除の女神とされる瀬織津姫を天照大神の荒御霊として祭る神社。秋祭りで奉納される獅子舞は村の伝統芸能です。

御間都比古神社（村内随一のパワースポット）

祭神：観松彦色止命

醍醐天皇の御代に延喜式小社に列せられた神社。初めて佐那県に居住し、山野を墾き水田の基をおこし、海浜の地に漁業を教えて産業を開発せられたとされる長の国の祖神観松彦色止命が祭られています。この神社の由来から、村はかつて天皇の米をつくる直轄領であったとも考えられています。

Food 食を楽しむ［特産品］

すだち

村を代表する特産品。焼き魚などにかけたり、皮をすり下ろして薬味として使う柑橘系果実で、料理に豊かな風味と彩りを加えます。近年は、皮に含まれる”スダチチン”の健康効果にも注目が集まっています。

さくらももいちご

全国でも佐那河内村でしか作られていない、希少なブランドいちご。ジューシーな甘さと大きさが特徴です。

キウイフルーツ

生産量県下No1!特に大きさと甘さが特徴の佐那河内村ブランド「達磨キウイ」は贈答品としても人気です。

貯蔵みかん

糖度が高く、甘いコクの中にも爽やかな喉ごしが好評の佐那河内村のみかん。十万みかんの生産が盛んです。

大川原ネギ

シャキッと細身で美人。毎日のお料理には欠かせません。

しいたけ

ぷりっぷりの肉厚が人気。原木しいたけも販売されています。

すだち加工品

特産品のすだち果汁がぎゅっ!お手軽に徳島の味覚を楽しめます。入浴剤やサプリメントもあります。

村の手作り加工品

村の農林産物を使った手作りの加工品。安心とこだわりが詰まっています。

佐那河内村の棚田米

かつては藩主蜂須賀候への献上米だったことで知られる。寒暖の差が激しい中山間地の気候と、マグネシウムを多く含む良質の土壌、料理人も惚れ込む佐那河内村の美しい水がおいしさの秘訣。天日干しで丁寧に生産されています。

村の特産品カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
タケノコ		うめ					温州ミカン				
	ハウスすだち収穫始まる							キウイ			
							ゆず				
				露地すだち収穫始まる				さくらももいちご			
								十万・大福みかん			
大川原ネギ、菌床しいたけ、すだち											

特産品は産直市でGETしよう！

産直市情報は、MAPへ→